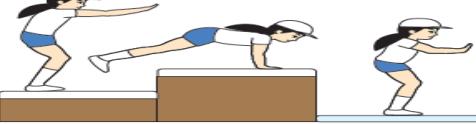


7. 学習指導・評価計画 3年 跳び箱運動 (45分×6)

過程	はじめ	なか	まとめ
時	1	2 3 4 5 (本時)	6
学習のねらいと活動	<p>学習のねらいや進め方を知り、単元全体の見通しをもつ。</p> <p>1. 学習のねらいや進め方を知る ・技の内容とポイント ・単元全体、1単位時間のすすめ方 ・学習カードの使い方 ・器械・器具の準備等、役割分担等</p> <p>2. 感覚づくりの運動の仕方を理解する (1)踏み切りにつながる感覚づくりの運動 (2)空中の姿勢制御や着地につながる感覚づくりの運動 (3)着手につながる感覚づくりの運動 (4)逆さになる(回転)感覚づくりの運動 (5)開脚とびにつながる感覚づくりの運動</p> <p>3. 学習のまとめと後片づけをする</p>	<p>感覚づくりの運動をしたり、自分の力に合ったためあてをもって開脚跳びに取り組んだりして、飛び箱運動を楽しむ。</p> <p>1. めあてや学習の進め方を確認する。 2. 感覚づくりの運動をする。 (1)助走して両足ジャンプ《踏み切りにつながる感覚づくりの運動》 (2)その場からジャンプでいろいろなポーズをとる《空中の姿勢制御や着地につながる感覚づくりの運動》 (3)足たたき、うさぎとび《着手につながる感覚づくりの運動》 (4)足を高く上げて立ち上がる《逆さになる(回転)感覚づくりの運動》 (5)馬跳び《開脚とびにつながる感覚づくりの運動》</p> <p>3. 開脚跳びの学習をする。 ・学習カードを活用しスマルステップの運動課題に取り組む。</p> <p>活動1 ○助走なしの開脚跳びをする。 </p> <p>活動2 ○開脚跳びをする。 </p> <p>4. 学習のまとめと後片づけをする</p>	<p>1. 発表会の進め方を確認する。 2. 学習の成果を発表する。 3. 友だちのよい所を認め合う。 4. 単元全体のまとめをする。</p>
指導者の支援	<p>○単元のねらいを理解させ、1単位時間の学習の進め方や単元全体の見通しをもつことができるようとする。 ○感覚づくりの運動の仕方や技のポイントを理解し、学習意欲を喚起できるようとする。 ○学習資料や学習カードの使い方を理解し、自分の力に応じたためあてをもつことができるようとする。</p>	<p>○感覚づくりの運動を通して、飛び箱運動の基礎的・基本的な感覚が身に付くようとする。 ○学習カード等から学習の方法が理解できるようとする。 ○それぞれの課題のポイントについて理解できるようとする。 ○自分の力に合ったためあてをもっているかを確認し、個に応じて助言する。 ○互いに協力し、励まし合って練習できるようとする。</p>	<p>○発表会の約束やマナーを守って、取り組むことができるようとする。 ○発表会では、互いの学習の成果を認め合うことができるようとする。 ○単元全体を通しての学習のまとめを行い、次学年への意欲付けをする。</p>
具体的な評価規準の一例	<p>【技能】</p> <p>【態度】 飛び箱運動に関心をもって取り組もうとしている。</p> <p>【思考・判断】 自分の力に応じたためあてをもつことを理解している。</p>	<p>感覚づくりの運動ができる。</p> <p>場の危険物を取り除いたり、器械・器具を安全を確かめたりとともに、試技の開始前の安全を確かめようとしている。</p> <p>友だちのよい動きを見つけている。</p>	<p>基本的な支持跳び越し技(かいきや開脚跳びができる。</p>

